



今号の 記事内容

1面: 築54年の【石神井庁舎早期改築】を陳情!
2面: 知られざる練馬の歴史シリーズ⑤ 葛城明彦氏
3面: 【石神井公園ふるさと文化館】の展示品ご紹介
4面: 野鳥と自然の会 提供【石神井公園 NOW】

5面: SDGsに取り組むシリーズ 練馬区立谷原中学校
6面: 練馬区、縁(ゆかり)の漫画家シリーズ その⑧
7面: 活動団体紹介シリーズその⑩ NPO 認知症サポート・ねりま
8面: 石神井再発見ウォークを顧みる、【シニアライフ講座】、編集後記

築54年で老朽化した【石神井庁舎の早期改築】を！

石神井地域の活性化のために…

私たち石神井まちづくりの会を代表とした練馬区民で、石神井地域のまちづくりの一環として、令和元年11月29日付で練馬区議会に、当時築48年で【老朽化した石神井庁舎の改築と石神井文化ホールの新設】(練馬区議会收受陳情 令和元年第53号)を陳情しました。しかしながら、この陳情に対して練馬区議会は、遅々として審議は進んでいません。

ご承知のように東京都は、この30年以内に「震度7以上の首都直下大地震が70%の確率で起きる可能性がある」と言われて久しいです。

【石神井庁舎】は、既に築55年を超えており『老朽化して改築』の時期を迎えています。



▲富士街道から見た老朽化した石神井庁舎

活気ある『回遊性のあるまちづくり』

最近、私は練馬区の公共施設が東部の練馬地域に偏っているような気がします。

この頃、石神井の街は再開発ビル工事で他のまちに比べて疲弊している感じがしています。この『石神井庁舎跡地を再開発事業』として活かし、西の拠点として、活気ある『回遊性のある拠点都市としてのまちづくり』を強く望むものであります。

令和元年11月に、区議会に陳情して既に約7年になろうとしているのに審議が進捗しないのは一体どうしたことでしょうか？庁舎改築は、企画総務委員会の担当で、文化ホールは区民生活委員会の所管であるが、委員会のメンバーが毎年変更になるので働きかけようがありません。

しかも、この石神井庁舎の大半の業務は、現在建築中の石神井公園駅南口西地区【再開発事業】地上26階建て、高さ100mの超高層ビルが現在建築中で再来年の4月に完成し、再開発ビルに移転します。



▲2年後に完成を目指し建設中の超高層ビル(6月1日撮影)

再開発事業は着々と進んでいる…

練馬区は、この再開発ビルの中に3フロアを確保して移転し、駅に近くなり便利になります。

この再開発ビルが完成の令和10年4月には石神井庁舎は空洞化します。そうならないためにも再開発ビル事業の完成に合わせ、この立地条件がいい跡地を総合設計によって民間資本の導入(PFI事業)も考慮した【多目的の総合ビル】の建設を着工で出来るように準備すべきではないでしょうか。(下河秀行)

石神井公園ふるさと文化館のご案内！

企画展「地図にみる練馬」

会期 | 6月20日(土)～8月16日(日) 9時～18時
 休館日 | 月曜日 ただし7月20日(月・祝)は開館、7月21日(火)は休館
 会場 | 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室
 練馬区石神井町 5-12-16
 観覧 | 無料

明治期には、西洋の測量技術が導入され、地図が作成されるようになりました。地図は法則に基づき、目的に沿った情報が盛り込まれるため、作成時点の練馬の姿を可視化することができるツールです。本展では、さまざまな目的で作成された地図を通して、練馬区域の移り変わりを振り返ります。

地図から地域を知る楽しさを味わっていただき、地域に対する理解を深めていただければ幸いです。

会期中にイベントを開催します。詳しくは二次元コードより、ホームページをご覧ください。



常設展示のご案内

常設展示では、出土品、歴史、民俗、練馬大根などの資料の展示から、練馬区の歴史や人々の生活の様子などを知ることができます。また、古民家の旧内田家住宅では季節に合わせた展示もお楽しみいただけます。

分室では、練馬区ゆかりの文化人の紹介や、芥川賞作家・五味康祐がこよなく愛したクラシック音楽、オーディオ装置に関する展示を行っています。

石神井公園ふるさと文化館
 練馬区石神井町 5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室
 練馬区石神井台 1-33-44
 石神井松の風文化公園管理棟内



常設展示
 背負いかごの体験



旧内田家住宅 季節展示(七夕飾り)
 7月3日(金)～7月7日(火)展示



分室常設展示
 練馬区ゆかりの漫画家展示

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園 旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

お買い物は防犯カメラの設置された安全な加盟36店舗で



初夏のみどころ

石神井公園野鳥と自然の会 提供【石神井公園 NOW】

また暑い夏を迎えることになりそうです。暑い中でも私たちには楽しみがあります。公園の池ではトンボが飛び、水辺に夏の花が咲いています。木陰で涼しい風を浴びながら、自然の声を聴きましょう。

○昆虫



ミドリシジミ

カラスアゲハ

梅雨に入る頃から、ゼフィルスと呼ばれる樹上性チョウが年に一回現れます。ミドリシジミは金緑色に輝く美しい翅を見せます。また鮮やかに輝くカラスアゲハや、ゴマダラチョウ、ヒカゲチョウなどのチョウたちや、カブトムシ、クワガタなどの甲虫類、そして危険なスズメバチ類が樹液に集まります。樹液に集まる昆虫を観察するときは、遠くから静かに近づきながら観察を始めてください。

三宝寺池では大型のオオヤマトンボ、ウチワヤンマ、ギンヤンマが飛び回り、オニヤンマに出会う事もあります。夏の暑い盛り、木陰の中に青い宝石のような目のマルタンヤンマ、ヤブヤンマが休んでいます。蟬時雨の降り注ぐ公園の夏が今年もやってきます。



オコトラノオ



オニヤンマ

○植物



ノカンゾウ

初夏になるとオコトラノオが咲き始めハンゲショウは葉の色を半分白く染めて花を咲かせ、ウマノズクサがラッパ状の花をつけます。夏本番を迎えると、ノカンゾウ、キツネノカミソリが咲き、ヌスビトハギ、ヌマトラノオも開花、ミソハギ群落も見られます。クサギの花が香りで虫たちを魅了します。



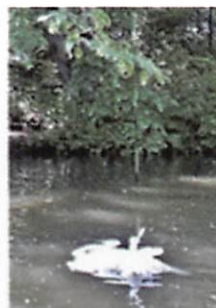
カイツブリの親子



カルガモの親子

○野鳥

渡りも終わり、野鳥は石神井公園で繁殖する種だけになります。カルガモ、カイツブリの子育てが見られます。よく見るとたくさんいたヒナが徐々に減っているのに気づきます。アオサギ、アオダイショウその他に食べられたりもするのでしょう。過酷な食物連鎖が感じられます。



釣り糸でダイサギ死す

釣り針にダイサギが絡まり死んでいるのが見つかっています。このダイサギは婚姻色を帯び繁殖しようとしたようですが、釣りのルアーが足に刺さり樹木からつり下がっていました。生物を傷める事はやめましょう

石神井公園野鳥と自然の会・定例観察会のご案内
第4日曜 9:00～三宝寺池掲示板 Tel 090-2447-7860

● 診療科目 ●

- 内 科
- 糖 尿 病 内 科
- リ ウ マ 手 科
- 胃 腸 内 科
- 循 環 器 内 科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp
☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

● 平 日 午前9:00～12:30 午後3:30～ 7:00
● 土 曜 午前9:00～12:00
休診日:水曜/日曜/祝日





2015年国連で採択されたSDGsとは、何を指すのか？を考えてみることにした。目標は、大きくて17項目に分けられる。石神井地域でも【SDGs】シリーズとして考えて見ることにした。

【SDGs】4は、質の高い教育をみんなに・・・すべての人々に包括的かつ公平で質の高い教育を提供、生涯学習の機会を促進する。今回は、そのシリーズ その⑧として、谷原中学校 校長 鈴木 裕行氏にインタビューした。

【持続可能な開発目標は、大きく17項目に分かれている】

Q. 区立谷原中学校の特徴は・・・

A. かつて谷原村(やわらむら)と呼ばれた本校の学区は、戦後の昭和24(1929)年に練馬区谷原町(やわらちょう)となりました。その後、昭和40(1965)年に住居表示が施行され、明治通りから北側を谷原(やはら)、南側が高野台や富士見台の町になりました。その後、昭和52(1977)年に八坂中学校、石神井中学校、練馬中学校、豊溪中学校を母体として、谷原中学校が開校しました。令和9年度に開校50周年を迎えます。

南側の正面からは気付きにくいですが、校舎を通り抜けた敷地内には、開校当時に土地を提供された方々の思いの詰まった、やわらの森と呼ぶ雑木林があります。豊かな自然と地域の方々との熱い思いに守られながら、中学生が育っていく学校です。現在、生徒数は500人を超えて、通常の学級が14学級、特別支援学級が3学級の学校規模になりました。

Q. 谷原中学校の教育理念は・・・

A. 教育目標は、『『自律』自ら考え行動する人、『敬愛』思いやりがあり自他を尊重する人、『創造』より良い社会を探究し新しい時代を創造する人』です。特に様々な教育課題への対応として、十分な睡眠を基本とする基本的な生活習慣を大切にするとともに、自らの生活を自己管理できる力を高めることを重視しています。生徒全員にスケジュール帳を持たせ、起床や就寝の時間を記録したり、必要な予定を記入したりして、

見通しをもった生活をつくる経験とスキルを大切にしています。また学校行事や部活動等における生徒の主体的な取り組みや、地域未来塾、地域行事へのボランティア参加など、生徒の自己決定による自発的な行動を重視しています。やわらの森プロジェクトや餅つき体験など、保護者や地域の皆様の協力により、生徒は豊かな経験を積むことができています。

Q. 谷原中学校のSDGsの取り組みは・・・

A. 2030年までの達成を目指した国際目標のSDGsにおける目標4「質の高い教育をみんなに/だれもが公平に、よい教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう」について、本校は教育の機会を保障する公立の学校であり、持続可能な開発のための教育(ESD)を踏まえた学習指導要領に基づく教育活動を行っています。各教科等の学習を通じて、地球環境問題や貧困、気候変動、世界が直面する課題、将来の就労につながるキャリア教育、人権や男女平等、多文化共生、国際理解の基礎を学んでいます。雑木林の維持管理につながるやわらの森プロジェクト、女性クリニックの医師や助産師による人権を基盤とした性教育、専門の医師や学校薬剤師によるがん教育や薬物乱用防止教室は、取組の一つです。昨年度は、デフリンピックアスリートを招いた障害者理解の学習も行いました。

サミットが日本のスーパーマーケットを楽しくする

サミットストア

石神井公園店

練馬区石神井町 2-12-21
☎ 03-5923-7360
営業時間 9:00~23:00

～練馬区 縁(ゆかり)のある漫画家たち～ 紹介シリーズ⑧

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6（2024）年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。本誌では、ふるさと文化館分室で過去に作品展示を行った漫画家を紹介しています。



原画「ドラゴン桜」1巻冒頭

三田 紀房

昭和33（1958）年生まれ、岩手県北上市出身。明治大学政治経済学部卒業。代表作に『ドラゴン桜』『インバスターZ』『エンゼルバンク』『クロカン』『砂の栄冠』など。『ドラゴン桜』で平成17（2005）年第29回講談社漫画賞、平成17年度文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞。



左：原画「ファイナル・ゲーム」
右：原画「雷電王」

竜崎 遼児

（竜崎先生からのコメント）

私は3人の先生についた。18才でアシスタントになったのだが好きであこがれていた先生につけたわけではない。最初と次の先生は近所に住み友人同士だったのだが“人”としても“漫画家”としても真逆なタイプだった。漫画家としてのあり様を学んだ。3番目の先生からは画用紙や鉛筆、下書きのやり方からスケジュールの立て方まで踏襲した。好きであこがれて師事するのも良いが流れでつくのも悪くはない。

令和8年7月～9月は、河合単先生と鈴木みつはる先生の作品を展示する予定です。

ぜひご来場ください。 石神井公園ふるさと文化館 練馬区石神井町 5-12-16 TEL03-3996-4060



～地域文化の交流点～ 観蔵院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00
東京都練馬区南田中4-15-24
TEL3996-6858 FAX3996-6878
<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



～練馬サークル団体活動紹介～その⑪ **NPO 法人 認知症をサポートセンター・ねりま****1. 設立の目的と背景**

認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるには、本人への支援だけでなく、介護を担う家族へのサポートが不可欠です。かつて練馬区内には複数の認知症家族会が存在していましたが、個々の活動には限界がありました。こうした状況を受け、家族会同士のネットワーク化や情報交換、支援の充実を目的に、2007年に「練馬認知症支援ネットワークの会」が結成されました。これが後に「認知症サポートセンター・ねりま」設立へとつながります。

その後、2012年から練馬区の委託事業として「介護なんでも電話相談」を開始し、またそれまで自主事業で開催していた「認知症フォーラム」を練馬区との共催事業として継続するなど、区との連携を深めてきました。さらに活動の継続性と透明性を高め、地域福祉の向上に寄与するため、2014年（平成26年）に「特定非営利活動法人 認知症サポートセンター・ねりま（略称：サポ・ねり）」が設立されました。

2. 主な活動内容と実績

当法人は、行政や地域包括支援センター、練馬区社会福祉協議会等と広く協働し、主に以下の3つの事業を柱としています。

・認知症介護家族による「介護なんでも電話相談」（練馬区委託事業）

研修を受け、自らも介護体験を持つスタッフが2名体制で、毎週水曜日の10時から15時まで、介護の具体的方法や介護家族の悩みに対する相談に応じています。相談には傾聴を基本とし、相談者の意思を尊重して心に寄り添い、問題解決のための要点整理を補助するほか、必要に応じて区の窓口紹介など適切な情報提供を行っています。

・介護家族支援事業（練馬区委託事業）

「介護相談・交流カフェ」と「介護家族支援者交流会」があります。前者は区内5か所の「街かどケアカフェ」で年8～10回開催し、介護知識の提供や介護者同士の交流を図ります。後者は家族会や認知症カフェ、地域包括支援センター等の支援者が集まり、顔の見える関係づくりと情報共有を目的に年1回開催しています。

・認知症フォーラム（練馬区との共催事業）

「世界アルツハイマーデー」に合わせ毎年9月に開催しており、今年で19回目を迎えます。

講演や関係団体の紹介、相談ブースの設置を通じて市民への啓発を行っています。

開催に際しては、チラシ配布や区報、ホームページ等で広く周知と参加募集を行っています。

（事務局 篠 文子）

特定非営利活動法人認知症サポートセンター・ねりま

理事長 及川 翔

〒178-0063 東京都練馬区東大泉五丁目35番12

URL : <http://nintisyousaponeri.org/>



感謝のセレモニー **マキノ祭典**

ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル



ヨイ セレモニー
0120-41-7062

■ 本 社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040

マキノ祭典

検索

■ サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

第11回「石神井公園 再発見ウォーク」まち歩き 盛会裏に終わる!

5月は毎年”緑豊かな爽やかな季節”が日本の常識ですが、今年5月17日(日)に開催された【石神井公園再発見ウォーク】まち歩きは、今年初めての30度の猛暑日となった。

しかしながら当日参加された30名の方々は、この猛暑にも関わらず、講師で郷土史家の葛城明彦先生の解説を熱心に聞き入っておられた。

◆コースは：池袋線石神井公園駅改札口前出発 和田稲荷神社～檀一雄宅跡～石神井公園記念庭園～野外ステージ～ふるさと文化館～三宝寺池沼沢植物群落～石神井城址～野鳥憩いの森～松の風文化公園～文化館分室で3時30分頃 解散した。



駅前火車站の碑前



三宝寺池入口前

～NSN楽友会主催 第4回【ねりまシニアライフ講座】のご案内～

練馬区高齢社会対策課が後援し開催するNSN練馬シニアネットワーク楽友会が主催する第4回【ねりまシニアライフ講座】は、第一部は豊かなシニアライフを目指す講座で本講座は『人生100年時代をどう生きるか』を主に自分たちのセカンドライフを考えます。第二部は【人生最後の仕舞い方について】について専門家がお話します。



▲「ねりまシニアライフ講座の様様

◆当日の講座は、下記の通り開催します。

◎日時：6月28日(日) 午後2時～4時

◎場所 練馬区石神井町 石神井庁舎 5階

第一部『人生100年時代をどう考える』

ねりまシニアネットワーク 楽友会 下河秀行

第二部『人生最後の仕舞い方』

(株)まきの 石神井公園駅前支店長 好永章二

会費：500円、予約の上、ご参加下さい

◎申込は：氏名と電話を書いて NSN楽友会

e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp

もしくは、(携帯) 080-6607-4321

編集後記

総務省が、5月29日に発表した2025年度の国勢調査速報値では、日本の人口減少が加速しているが、東京の一極集中の歯止めがかかっていない。東京都は、1424万6219人と19万8621人増加しているが、日本全国では、1億2304万9524人となっており、少子高齢化で309万6575人の2.5%の人口が減少している。同省は、「少子高齢化が加速し、死亡者数が出生数を上回っており、自然減が

一段と加速している」という。都道府県別では、東京都と沖縄県が増加して、45都道府県で減少した。これからの人口問題に政府はどう対応していくのか、大きな課題を抱えることになった。

現在、行政に求められる大きな課題は、異常な物価高騰問題と少子高齢化による人口減少は、日本の大きな課題である。(下河秀行)

Shimizu Dental Clinic
 シミズ デンタル クリニック
 歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
 練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
 石神井パークロード商店街 銀座通り
 診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
 お昼休み 13:00～14:00
 日曜 祝祭日 年末年始 休診
 03-6913-3517
<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～
 当院では、**歯科訪問診療**を行っています
 クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで
 ご家庭や施設など限られた環境でも
 経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応
 みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします
 院長 清水 雄一郎
 どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

石神井まちづくりの会
 ご意見等は、☎&FAX、又は左下のe-mailへ送信してください。
 TEL&FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にありま